

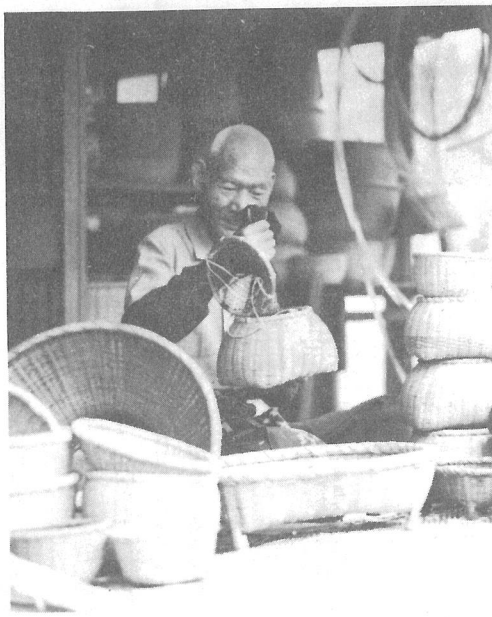


皆さんの日常生活の中で、いろいろな出来事、生活上の知恵などありましたら、何でも結構ですの役場内広報係(☎②1115)までご連絡ください。

また、記事中に掲載されている写真をご希望の方、お譲りします。

# 竹と竹とが 織りなす芸術

伊藤 万吉さん (上町4)

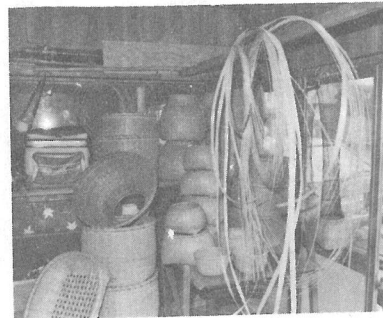


▲ お気に入りの魚籠を手にする伊藤さん

「十一の時から七年間修業、その後一人立ちして籠屋を始めました」と語る伊藤さん。

大きさ、種類、ともに数え上げたらきりが無い。

その作品は、「職人は一生、修業」と「研究」ですよ」とき



▲竹の芸術 伊藤さんの作品

りげなく語ることはのとおり、その作品一つ一つに、伊藤さんの心がこめられているかのようです。

「目先(お金)のことはかり考えては、いい職人にはなれないですよ。また、最近ではプラスチック製品が多くなり、竹製のもの

はだめですね」と寂しそうに語る伊藤さん。けれども、ぜひ竹で作ってほしいと言う人が、絶えず訪れるということです。

細い竹と竹とが織りなす芸術に心を傾ける伊藤さん、肌のつやもよく、明治三十年生まれの八十五歳にはとても見えない。



## 横芝俳壇

### 横芝句会八月例会

土屋 栗水  
糸柳病葉こぼしつつ伸びし  
石川 奇水  
瓶に活け簪の如き花  
成田 様子  
宵月の兆しに花の花明り  
宇井 芝童  
昏るまで待てぬ手火花二、三発  
藤代 ゆう  
冷夏なりかそけく咲きぬ水引草

若梅あやめ  
手火花や残る一本うばひ合い  
向後 雅子  
手火花の火をこぼしつ孫等駆け  
鈴木 南知  
食パンを片手に火花している子  
三枝 句城  
花の何時も見過ぎて通る道  
木下石果子  
新盆の終りし顔の主かな  
住母家千夫  
石燈籠置きて植込晩夏光  
安井ゆづる  
手火花に糸瓜の長さ照らさるる  
佐久間実枝子  
花細や起伏のままに花の帯

佐久間久子  
花の花直立不動の列続く  
原 ひさし  
手火花を垣根一つで競い合ふ  
伊藤 保人  
黒揚羽舞ひてあかるく花の  
大沢 竹王  
花の折りて人目も無く捨てし  
古谷 紅雲  
花一列夜目にも白き屋敷跡

## 海外移住の 映画と相談会

県では、海外移住を希望する方がたのために、次の日程で「海外移住映画と相談会」を開催します。

日時 九月十八日(木)  
午後六時～九時

場所 木更津市社会教育センター(中央公民館・青年の家) 視聴覚室

その他 移住できる国 カナダ/ブラジル/アルゼンチン/パラグアイ/ボリビア/オーストラリア

お問い合わせは、県企画部県民課(〇四七二〇二二五)まで。